

法科大学院における特別措置の状況について

ふりがな 氏 名		生年月日	大 正 平 成	年	月	日	性 別	
							男	女
在 学 期 間	平成 年 月 から 平成 年 月 まで (見込み)							
該当する項目をチェックし、必要事項を記入してください。								
1 定期試験等における試験時間は、 ☐ 健常者と同一の試験時間で実施している。 ☐ 健常者の試験時間の約()倍で実施している。 2 書字に要する時間は、 ☐ ほぼ健常者と変わらない。 ☐ 健常者の筆記時間に比し、約()倍程度長くなる。 ☐ そ の 他() 3 読みに要する時間は、 ☐ ほぼ健常者と変わらない。 ☐ 健常者の読字時間に比し、約()倍程度長くなる。 ☐ そ の 他() 4 定期試験等において、答案用紙に解答するに当たっては、 ☐ 代筆によって解答している。 受験者と代筆者との関係() ☐ 特殊な装置又は機器(音声出力による意思伝達装置、パーソナルコンピュータ等)を使用している。 使用機器名() 補助具名等() ☐ そ の 他() 5 言語による意思の疎通は、 ☐ 一般の教員でも可能である。 ☐ 養護学校の教諭等であれば可能である。 ☐ そ の 他()								

学内試験等の際に講じられている特別措置の内容を，できるだけ詳しく記入してください。

上記のとおり特別措置の状況等を報告する。

平 成 年 月 日

法科大学院の名称及び所在地

記載責任者の職氏名

本書は，法科大学院において記載してください。